

審 議 結 果

会 議 名	第1回川口市交通安全対策協議会
開 催 日 時	令和元年7月30日(火) 午後2時から3時まで
開 催 場 所	本庁舎2階 第3会議室
出 席 者 (会長に◎、副会長に○)	別紙会議録に記載
議 題	1 警察署における交通安全対策の取り組みについて 2 本市における交通安全対策の取り組みについて 3 川口駅前の放置自転車対策について
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0名
会 議 資 料	別紙のとおり
審 議 経 過	別紙会議録のとおり
そ の 他	

会議録

名 称	川口市交通安全対策協議会
日 時	令和元年7月30日(火) 午後2時00分～3時00分
会 場	本庁舎2階 第3会議室
出席者	<p>(委 員) ◎石原美知子、○佐藤征己、峯岸ヨシ子、中原栄次、原島潔、島田松夫、河邊一成、中澤龍彦、坂本良雄、鶴見文治、高田晶子</p> <p>(幹 事) 星和徳、中村裕嗣、沼尻真実、大沼伸康、三浦伸之(代理：石田智久)</p> <p>(事務局) 臼倉部長、丸山課長、金子補佐、興石補佐、岩下補佐、山田主査、島山主事</p>
概 要	<p>1 開会 (事務局)</p> <p>令和元年度第1回川口市交通安全対策協議会を開会する。議事の前に、警察署の人事異動により委員の交代があったので報告する。平成31年3月14日付で南里秀夫委員が辞任され、同日付で作田隆志委員が委嘱された。同じく3月14日付で齋藤正士委員が辞任され、同日付で坂本雅彦委員が委嘱された。</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>令和元年の全国の交通事故死者数は7月22日現在1,562人で、前年より222人の減少となった。埼玉県内の交通事故死者数は65人で前年より32人減少、川口市では6人で前年同数となっており、死亡事故減少の流れとなっている。</p> <p>しかし、相次ぐ高齢運転者による死傷事故の発生により、政府は「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策」をまとめ、それに基づき、関係機関において取り組みが始まっている。</p> <p>このような中、本市においても、7月15日から24日までの10日間、夏の交通事故防止運動として「子供と高齢者の事故防止」、「自転車の安全利用の推進」等を主要事項に掲げ、駅周辺や商業施設を中心に警察署・市・関係団体が連携・協力して交通事故の呼びかけを行った。川口市から交通事故が減り、より元気で明るい町になるよう強く願っている。</p>

3 議事

(事務局) 川口市交通安全対策協議会条例第7条により、会長を議長とし議事を進行する。

(議長) 議題(1)警察署における交通安全対策の取り組みについて、幹事に説明をお願いします。

(幹事) 今年上半期の交通事故状況を説明する。6月30日現在川口市の人身事故件数及び負傷者数は前年と比較して減少傾向にあるが、交通事故死者数は前年と同数の6人で、(政令市を除く)県内市町村中ワースト1位となっており、交通死亡事故抑止が喫緊の課題となっている。事故の原因としては脇見等が最も多く、574件と構成率で70%を占めており、次いで一時不停止が多くなっている。死傷者の状態別では自動車が419人、次いで自転車が295人となっており、自転車乗車中の死傷者の構成率が県下ワースト5位となっている。

埼玉県警では、交通死亡事故死者数150人以下を目指して、「早めのライト」「反射材の着用」「歩行者保護」の3つの頭文字Hをとりトリプルエイチと称した「きらめき3H運動」を中心とした交通事故抑止対策に取り組んでいる。また、川口警察署では、通学路の安全対策「スクールガード作戦」、保育園等散歩コースの安全対策「キッズガード作戦」として、通学時間帯、保育園児等の散歩時間帯に合わせた交通指導取り締まり活動を実施しており、さらに高齢歩行者の安全対策「シルバーガード作戦」の準備をしている。また、高齢運転者対策の一環として、運転免許の自主返納の推進に向けた広報啓発活動の強化にも取り組んでいる。これらの施策をバランスよく連動させ、交通死亡事故0日数を1日でも長く継続させたいと考えている。

(議長) 今の説明に対して質問、意見等は。

(委員) 説明のあったスクールガード作戦などの施策について、対象の道路がわかるようになっているのか。

(幹事) 「スクールガード」「キッズガード」については学校の近くや通

学路、保育園等の散歩コースなどであるが、明示したものはない。「シルバーガード作戦」については、現在高齢者が集まりやすい場所などの調査を行っており、今後シルバーファースト路線として指定し、看板を掲げ運転者に注意喚起を行う方法などを検討していきたい。

(委員) 自主返納者への支援事業についてよく聞かれるが、何か施策はあるのか。

(幹事) タクシー料金が割引されるなどの、シルバー・サポーター制度を実施している。免許証の返納により移動の足がなくなるので、その対策についても図って参りたい。

(委員) 川口市は自転車や歩行者のマナーが悪いように感じるので、警察署で取り締まりや普及啓発をしっかりとしてほしい。

(委員) 注意しても聞き流して違反を繰り返す人が多い。

(委員) 自動車では違反すると点数が加算されるが、自転車は対象になるのか。

(幹事) 特別危険な行為はすぐに検挙となるが、2人乗りやイヤホンをしての走行などは、違反者に対して指導し、指導をきかないと検挙となる。

(議長) 他に何かあるか。

(委員) 特になし。

(議長) 議事(2)本市における交通安全対策の取り組みについて、説明をお願いします。

(幹事) 資料2ページ、本市で実施している主要交差点緊急安全対策事業について説明する。滋賀県で発生した保育園児が死傷した痛ましい事故を受け、市民の安全安心な生活環境を守るため、市内幹線道路の主要な交

差点を対象として、緊急安全対策を実施するものである。市による現況調査及び川口、武南警察署から交通事故の多い交差点についての情報提供を受け、資料3ページのとおり、市内幹線道路同士の交差点を中心に約150箇所を抽出した。主要な交差点のイメージ図を資料4ページに用意したが、ガードレールやガードポールを不足している箇所に新規に設置することにより、事故が起きたときの被害の軽減を図るものである。

(議長) 議事(3) 川口駅前の放置自転車対策について、説明をお願いします。

(事務局) 資料5ページ、川口駅前の放置自転車対策について説明する。川口駅東口第三工区再開発ビルの前の歩道は、市が管理する市道部分と、ビルが管理する歩道上空地という私有地部分がある。市が管理している市道部分に放置された自転車は、自転車等の放置防止条例に基づき撤去ができるが、私有地部分に関しては撤去できないため、ビルの管理組合と連携し、看板やバリケードの設置や周辺駐輪場への案内等を行っているところである。今回新たな取り組みとして、資料1)「歩道上への有料駐輪ラックの設置」、現在バリケードを設置している、通行に支障のない部分に有料駐輪ラックを設置し、駅前を短時間利用する方の駐輪需要に対応するとともに、駐輪ラックの設置により物理的にスペースをなくすことで、無秩序な自転車放置の発生を防ぐものである。次に2)「放置禁止区域の追加指定」、ビルの管理組合と協定を締結し、歩道上空地部分を放置禁止区域に追加指定し、歩道全体の放置自転車の撤去を実施できるようにするものである。ラックの設置場所、追加する放置禁止区域は資料6ページのとおりである。

(議長) 何か質問等はあるか。

(委員) 特になし。

(議長) 事務局の原案どおりとすることに決定する。
他に何か意見等あるか。

(委員) 議題1で、きらめき3H運動で早めのライト点灯とあったが、

薄暗い中でも点灯していない車が多い。取り締まりはできないのか。

(幹事) 規定は日没なので、取り締まりはできない。

(委員) 交通安全母の会として様々な活動をしているが、参加者が少なく、交通ルールに対する意識を高くしてもらうのが難しい。保護者の意識を高める良い方法があるか。学校などで指導してもらうことはできないのか。

(委員) 学校では毎年交通安全教室を実施している。小学校から繰り返し一生懸命取り組んでいる。保護者にも参加を呼びかけているが、参加は少ない。

(事務局) 市の取り組みとしては、安全教育以外にも、小学生、中学生、親子、高齢者向けの4種類の壁新聞を作成し、子供の送迎時に保護者に見てもらえるよう、親子向け壁新聞を保育所や幼稚園に、高齢者向け壁新聞を福祉施設、公民館などに掲示し、ホームページにも掲載し、啓発に努めている。

(委員) 通学路に歩行者用信号機がないところがある。警察と市が協力して設置を進められないのか。

(幹事) 横断する児童数など具体的に要望をあげてもらおうと設置が進みやすい。

(委員) 市からも警察へ情報を提供してほしい。

(幹事) 各学校から道路状況や設置要望をあげてもらっている。学校や町会など、連携して進めて参りたい。

(議長) 他に意見等がなければ議事を終了する。

4 閉会

(副会長)以上で令和元年度第1回川口市交通安全対策協議会を終了する。